

課程博士の学位授与申請に係わる審査報告書

学 籍 番 号	14DC1606 (中国研究科 中国研究専攻)
氏 名 (本 籍)	楊 帆 (中国)
学 位 の 種 類	博士 (中国研究)
報 告 番 号	甲 第 97 号
学位授与年月日	平成 30 年 3 月 20 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
論 文 題 目	孫中山的美国形象 (1896-1925)

審 査 委 員	主査 黄 英哲
	副査 松岡 正子
	副査 唐 燕霞

2018 (平成 30) 年 2 月 13 日

愛知大学大学院中国研究科

審査の結果の要旨

本博士論文は中国近代の偉人である孫文の、生前のアメリカでのイメージについて研究している。孫文は死後、党派の利益を超越してシンボル化され、誰もが知る政治的偶像として各党派をまとめる作用をなし、極めて自然に中国国民党の政治的シンボルとなった。その死後に国共両党が作り上げた彼のイメージに対する研究は近年まさに盛んであるが、本博士論文は西方社会における彼の死後のイメージ形成について研究した先駆的論文といえる。

本博士論文の評価すべき点：

- 1、本博論は中国近代の偉人孫文の生前のアメリカにおけるイメージの変遷と形成過程を体系的に研究している。アメリカ社会の孫文に対するイメージ形成に着目し、そのイメージがアメリカに伝播する過程を詳しく解明し、当時のアメリカ社会が孫文を知り理解するには駐華アメリカ記者が重要な仲介役であったことを明らかにした。この分野の研究にとってアメリカでの孫文像の伝播過程を研究することは重要な意義がある。
- 2、本博論はアメリカの政界、新聞業界、宣教会という三つの観点から、アメリカ社会の各種業界における孫文像を整理しており、これ以前の関連する研究にくらべて視点がより系統的である。
- 3、本博論は孫文像と当時のアメリカの対華政策、民国初の政局変遷を相互に結びつけて研究を進めている。合衆国の対外関係（FRUS）文書、アメリカ合衆国国務省外交文書、アメリカ社会の主流新聞、中国で刊行されたアメリカの英字新聞、在中国のアメリカ人宣教師の回顧録など多岐にわたる史料を利用し、歴史学、コミュニケーション学、国際関係研究などのいくつかの研究方法を応用して、アメリカ社会の主だった業界における孫文に対するイメージの構築及び要因を深く掘り起こしており、史料的にも研究方法においても高く評価できる。

本博士論文の改善すべき点：

- 1、アメリカ人の見る孫文とは、その背後にあるのは、孫文または孫文に代表される近代中国への欲望と期待である。本博論は、アメリカの各種業界の孫文に対する現実的需要についての検討はすでになさされており、今後はさらにアメリカ人の社会文化面での心理的要求のレベルにまで分析を進めてほしい。

2、孫文の生前の活動の軌跡はアメリカ、日本、イギリス等の国に及んでおり、海外でのイメージはアメリカ一国にとどまらない。今後日本やイギリスでのイメージの変遷についても研究を進め、本研究とあわせて海外でのイメージについて相対的に検討できれば、孫文像研究を一層深めることになるだろう。

2018年1月24日（水）に愛知大学名古屋校舎 M406 教室において口頭試問が行われ、審査委員からの質問に対して、的確な回答が得られた。本審査委員会では、本論文及び口頭試問に基づき審査を行い、全会一致で本論文を合格とする結論にいたった。

